Archaeology

考古学専修

考古学は、地中に埋もれた遺跡や遺物などの物質資料の分析を中心にして、人類の歴史や文化を研究する学問です。

考古学専修では、大型の古墳が集中し、古代から都が置かれてきた近畿が大学の所在地であるという地の利を生かして、日本考古学に重点をおいた研究や教育を行っています。とりわけ、ほぼ毎年フィールド調査を行っており、近年では古墳時代の前方後円墳や平安時代の窯跡などの発掘調査を行っています。

もちろん、教員や大学院生は海外調査にも出かけて外国との比較研究を積極的に進めており、広い視野で日本考古学の諸問題に取り組んでいます。専任スタッフが2名の小規模な専修ですが、研究室は昼も夜も活気に満ちています。

ただし、考古学専修は考古学の専門家だけを養成するところではありません。自らの手で遺跡を発掘し、長期にわたる人類文化の展開を考える4年間は、どのような道に進むにせよ、みなさんの将来にとってきっと有意義なものになるでしょう。

学生時代の貴重な経験を糧にして、卒業生たちは、考古学の専門家として発掘調査の第一線に立っているほか、学芸員、教員、公務員、ジャーナリスト、企業人などさまざまな方面で活躍しています。

https://www.let.osaka-u.ac.jp/kouko/

教員

福永伸哉（ふくなが・しんや） 教授
高橋照彦（たかはし・てるひこ） 教授
上田直弥（うえだ・なおや） 助教

何を学んでいるの？

考古学基礎
考古学の方法論と日本考古学の成果の概説。主に考古学に関わる諸テーマの研究現状を紹介するとともに、考古学と関わり深い博物館や埋蔵文化財保存の問題などについても講義する。

考古資料論演習
発掘調査から調査報告書の作成までで必要となる考古学の専門的技術を習得するための演習。地形測量や遺物の実測図作成、図面レイアウト・トレースなどを学ぶ。3・4年次の履修。

どんな授業があるの？

［講義題目］
考古学の基礎的方法
青銅器の考古学
日本古代における窯業生産
歴史考古学の諸問題

［演習題目］
考古学の基本技術
考古学英書講読
考古学文献演習
考古資料分析実践演習

教員が選ぶ印象に残った卒業論文

粘土槨の展開過程とその画期
古墳時代には、被葬者の棺を粘土で覆った「粘土槨」と呼ばれる葬法がある。それらの類例を集め、構築の手順を復元して、葬法の変遷と歴史的意義を明らかにした。大阪大学の発掘した古墳が偶然にも未盗掘の粘土槨であり、その調査に参加した経験と刺激が新たな論文を生んだ好例である。（選：高橋照彦 教授）

［卒業論文題目］
西播磨における土器様相と地域間関係
　――弥生時代後期から終末期を対象として
大阪湾岸地域における
　古墳時代中期土器製塩の展開
猪名川流域における古墳時代後期の埴輪生産体制
平安時代後期における播磨の瓦生産

考古学研究室の年間スケジュールをご紹介

研究室レポート

研究室は勉強だけでなく、コーヒーを飲んだりしながら、いろいろな話題で盛り上がる、和気あいあいとした雰囲気。遺物の整理作業や発掘調査など、研究室一丸となっての作業が多いので、上級生から下級生まで分け隔てなくみんな仲良しです。

研究室の主な年間行事

4月 新学期ガイダンス
5月 新入生歓迎旅行（日帰り）
　　歓迎会
6月 遺物整理作業
7月 ↓
8月 ↓
9月 夏休み
10月 卒業論文・修士論文
　　中間発表会
10月 下旬 研究室旅行（2泊3日）
12月 大掃除・忘年会
1月 卒業論文・修士論文提出
2月 予餞会
2月 ～3月 発掘調査
3月 卒業式

考古学の授業は？

考古学の授業には講義と演習があります。講義では、日本だけでなく海外の研究など幅広い範囲を扱います。講義を受けて、博物館にいくと、モノの見方が変わります。また、屋外に繰り出しての演習授業は考古学ならではです。

出土品を自分たちの手で分析します。
（約1500年前の埴輪を計測中）

測量調査の風景

新入生歓迎旅行（平城宮跡にて）

毎年のフィールドワーク（発掘調査）が一番の醍醐味

新入生歓迎旅行って？

5月には、新入生を歓迎して日帰りの遺跡見学旅行があります。行き先は毎年異なりますが、兵庫県や奈良県、京都府など大阪周辺の各所をめぐります。発掘調査成果や文化財の活用事例を実地で学び、考古学の世界を知ることができます。

研究室旅行とは？

秋にはみんなで2泊3日程度の研修旅行に行きます。近年では、大分県と熊本県、福井県と石川県などに行きました。旅先では遺跡や博物館だけでなく、土地の美味や温泉も堪能。温泉、遺跡、グルメ。それが考古学の研究室旅行です。

発掘調査って？

春休みは、研究室の一大イベント、発掘調査。2022年度から兵庫県三木市の古墳を調査しています。測量、発掘、図面作成と自分たちで行うので、室内では学べないことも多く学べます。共同生活では思わぬハプニングや珍事件も…。

各地で最新の出土資料を見学

研究室旅行にて楽しい昼食の風景

自分たちの手で遺跡の実態を解明していきます